

平成30年6月28日

国土交通省 東北地方整備局

能代河川国道事務所

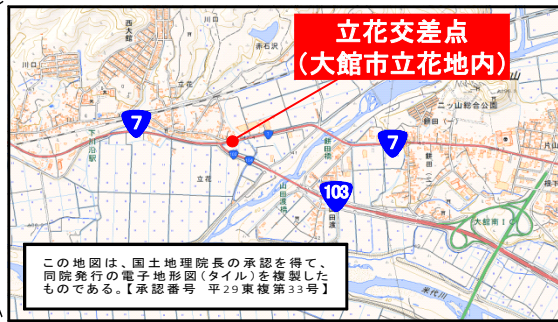
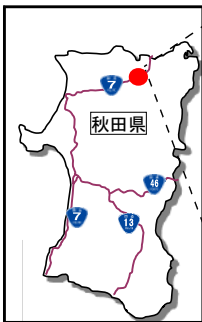
ETC2.0データを活用し、<sup>たてはな</sup>立花交差点改良の効果を確認  
～走行速度が向上し、渋滞が緩和、急ブレーキが大幅に減少！！～

立花交差点(大館市立花地内)は、市道への右折レーンが無いため、右折待ち車両に伴う渋滞や追突事故等が発生していました。

このため、右折レーン設置と交差点改良を実施し、平成28年12月に完了しました。

この度、完成1年後の整備効果について、ETC2.0データから得られた走行データ等から確認しましたので、お知らせいたします。

《位置図》



《対策後の状況》



○ETC2.0ビッグデータから確認できた効果(別添参照)

効果1: 走行速度が向上し、渋滞が緩和

効果2: 急ブレーキの発生回数が大幅に減少

○対策後に死傷事故は未発生、道路利用者が効果を実感(別添参照)

WEBアンケートによる評価: 利用者の約8割が対策に満足

記者発表先: 秋田県政記者会、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ、東北専門記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所

TEL 0185-70-1001(代)

副所長(道路担当) 木村 恭一 (内線205)

# 一般国道7号

たてはな

# 立花交差点整備効果

(平成28年12月完成)

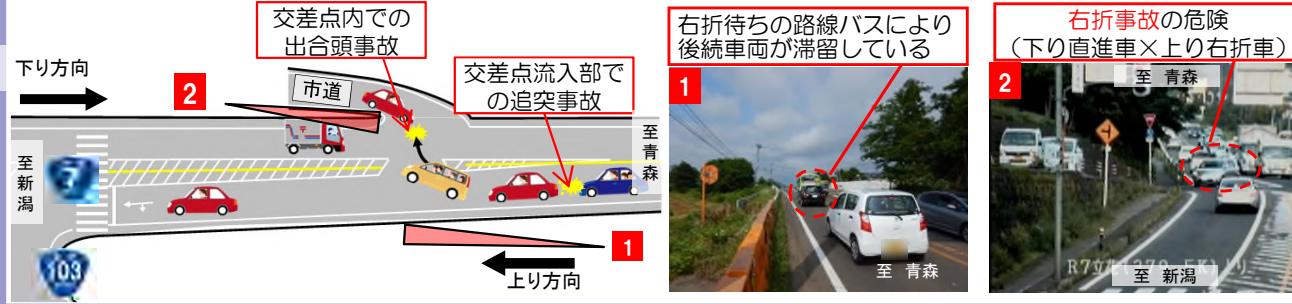
- ① 走行速度が向上し、渋滞が緩和(通常期の走行速度約9km/h向上)
- ② 急ブレーキ発生が大幅に減少(0.8件/100台が0.1件/100台に減少)
- ③ 対策後に死傷事故は未発生、道路利用者が効果を実感(利用者の約8割が満足)

## 【位置図】



## 整備前の問題点

- 右折レーンが無い場合、右折待ち車両に伴う渋滞や追突事故等が発生

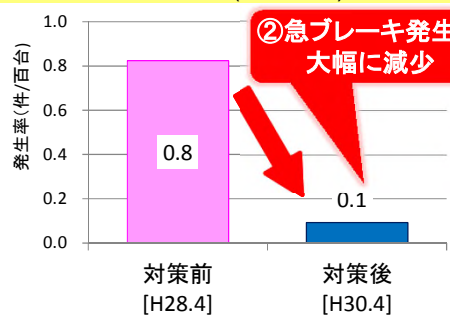


## 対策効果

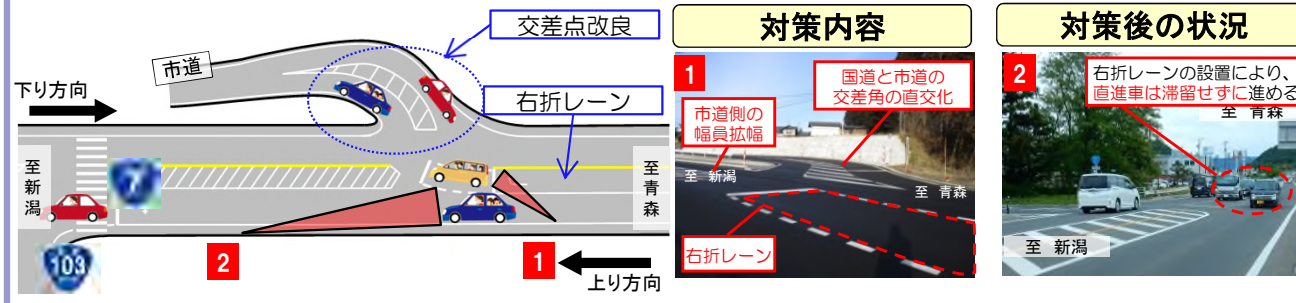
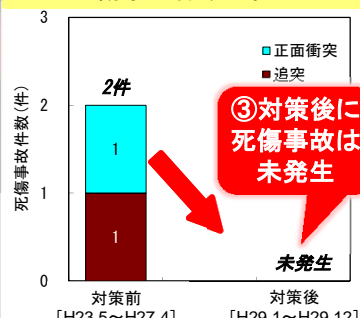
## 実施対策

- 右折レーン設置と市道の取付角度を改善するため、改良工事を実施(平成28年12月完成)

### 急ブレーキ発生件数(上り方向)※1の変化



### 死傷事故件数の変化

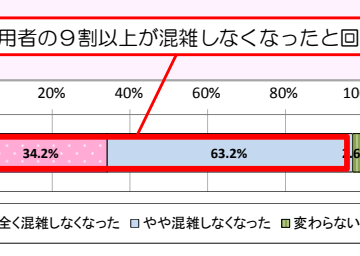
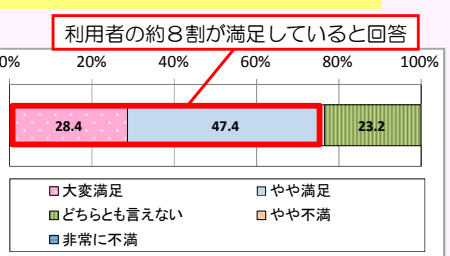


出典: ETC2.0データ  
※1 交差点付近(停止線から50m区間)における通過100台当たりの急ブレーキ発生件数。前後加速度-0.3G以下を急ブレーキとして集計。

出典: イタルダデータ等

### WEBアンケートによる評価

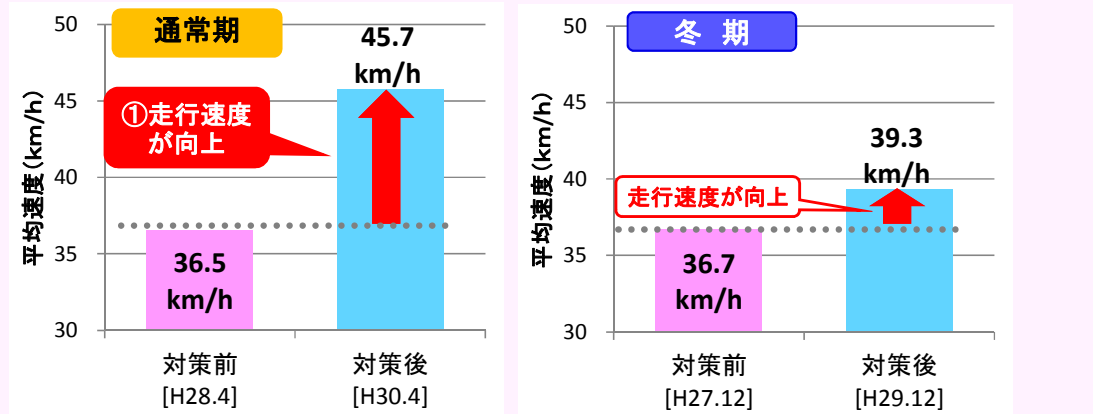
※調査実施日: 平成29年12月28日~平成30年1月14日



▲交通安全対策の満足度についての評価 (有効回答者数 n=94)

▲円滑性の変化についての評価(有効回答者数n=39 ※混雑に巻き込まれた経験がある人)

### 走行速度(上り方向)※2の変化



※2 交差点付近(停止線から50m区間)の通過車両の平均速度を集計。出典: ETC2.0データ